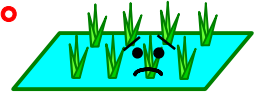


**低温少照の影響で葉数展開が鈍く分けつは少ない。
有効茎数は最大の収量構成要素。**



**今後は気温・地温の急上昇によるワキ発生にも注意！
浅水管理と水交換の二段構えで有効茎数を確保しよう！**

現在の生育状況（6/10 普及課作柄診断圃等）

茎数が少ない！

品種 移植/直播	場所	年次	移植/播種	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)
はえぬき 移植	鶴岡市矢馳	本年	5月16日	28.4	312	6.3	33.5
		平年比	0	98%	91%	-0.6	-2.8
つや姫 移植	鶴岡市上清水	本年	5月11日	31.5	292	6.4	35.5
		平年比	-3	104%	105%	-0.3	-0.1
雪若丸 移植	鶴岡市長沼	本年 指標比	5月11日 —	23.5 90%	242 86%	6.2 -0.6	41.4 0.4
はえぬき 直播※	庄内町堀野	本年 平年比	4月27日 -5	19.5 89%	206 92%	5.3 0.3	34.2 -1.7

※鉄コーティング

作柄診断圃の生育調査によると、6月上旬の低温少照の影響で、草丈は短く、茎数は少なく、葉数はやや少なく、葉色は淡くなっています。

鶴岡田川地域では生育の圃場間差が目立ち、移植時期の遅い圃場・老化苗を移植した圃場・移植後深水管理した圃場などでは、さらに茎数が不足している状況です。

穂肥に向けて、遅くとも6月25日頃までには中干しを開始したいところです。そのために今は浅水管理（ワキが発生していれば水交換）を徹底し、茎数の確保に努めましょう。

東北地方 1か月予報(2022年6月9日 仙台管区气象台 発表)

気温は平年並または高い確率が80%、降水量と日照時間は平年並

気温は6/17頃まで「低く」、それ以降は「高い」見込み

当面の生育量確保のめやす

[生育指標]


品種	項目	6/10	6/20	6/30	7/10	7/20	
「つや姫」	m ² 当	250	460	540	550	520	
	茎数(本)	1株当 坪70株	12	22	25	26	25
		坪60株	14	25	30	30	29
	葉色(SPAD)	35	39	40	38	36.0	
「雪若丸」	m ² 当	280	520	670	670	640	
	茎数(本)	1株当 坪70株	13	25	32	32	30
		坪60株	15	29	37	37	35
	葉色(SPAD)	41	44	42	41	40	
「はえぬき」	m ² 当	300	500	660	700	630	
	茎数(本)	1株当 坪70株	14	24	31	33	30
		坪60株	16	27	36	38	35
	葉色(SPAD)	6.8	40	40	38	37	

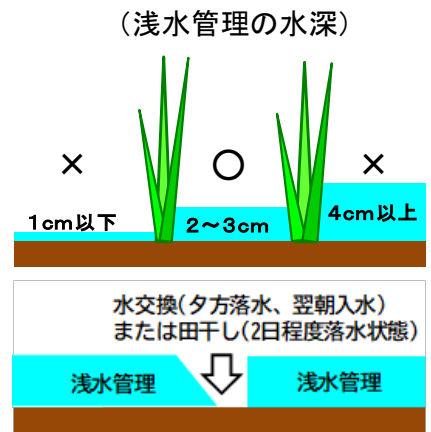
裏面へ

課題1(最重要) 有効茎数の確保

対策1 日中止水・浅水管理の徹底

日中の水温を高めるため、入水は朝のうちに行いましょう。
降雨後「深水」のままになっていないか、注意しましょう。

 水田に足を踏み込むと気泡が発生するようなら、ワキが生じています。ワキの発生前～発生初期の時点で早めの水交換または田干しを行いましょう。



対策2 茎数不足の「雪若丸」には補完追肥

ワキが原因で茎数不足になっている場合は、速やかに水交換または田干しを行いましょう。

6月20日現在で㎡当たり茎数 300 本以下 (坪 70 株植 : 14 本、坪 60 株植 : 16 本以下) かつ葉色(SPAD 値)40 以下 の場合は生育不足です。ただちに 10a 当たり窒素成分 1kg 程度を追肥しましょう。

ただし無効茎数を増やさないために、6/20 より遅い補完追肥は避けましょう。また、補完追肥をした場合は、相当量を穂肥から減肥しましょう(施肥窒素全量 8kg/10a 以内)。

課題2 病虫害・雑草の適期防除

対策1 残存雑草除草剤の適正使用

除草剤の対象雑草と使用方法を確認することが肝心です。

除草剤名	対象雑草	使用方法
クインチャー 1 キロ粒剤	イネ科	湛水状態で散布
クインチャーEW	イネ科	落水して散布
バサガラ液剤(ナトリウム塩)	広葉	落水又はごく浅く湛水して散布

対策2 農道・畦畔の除草～斑点米カメムシ類対策

農道・畦畔の除草を面的・継続的に行うことで、斑点米カメムシ類の生息密度を下げ、のちの本田薬剤散布の効果を高めることができます。

対策3 葉いもちの早期発見・早期防除

水田内の取置き苗をただちに撤去しましょう。



水田内の取置き苗で発生した
いもち病
(R4.6.6 病虫害防除所撮影)

前年発生圃場、葉色の濃い圃場は要注意です。発生を確認したら早目に防除しましょう。



熱中症予防強化月間

定期的に水分と休憩を取りましょう

